

平成29年 8月10日

各 位

トモニホールディングスグループの平成30年 3月期第 1 四半期決算概要について

トモニホールディングス（本社：香川県高松市、社長：遠山誠司）は、平成30年 3月期第 1 四半期（平成29年 4月 1日～平成29年 6月30日）連結業績等の概要と、当社グループの中核企業である徳島銀行（本店：徳島県徳島市、頭取：吉岡宏美）、香川銀行（本店：香川県高松市、頭取：本田典孝）及び大正銀行（本店：大阪市中央区、頭取：吉田雅昭）の単体業績等の概要について発表いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. トモニホールディングス
(1) 平成30年 3月期第 1 四半期（平成29年 4月 1日～平成29年 6月30日）連結業績

当第 1 四半期における損益状況は、経常収益は、利回りの低下により貸出金利息が減少したほか、国債等債券売却益が減少したこと等により、前年同期比1,477百万円減少して17,631百万円となりました。経常費用は、国債等債券売却損及び株式等売却損が減少したこと等により、前年同期比410百万円減少して12,967百万円となりました。その結果、経常利益は前年同期比1,067百万円減少して4,664百万円となりました。また、前期に大正銀行との経営統合に伴い特別利益として計上した負のれん発生益14,849百万円がなくなったこと等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比15,173百万円減少して3,211百万円となりました。

当第 1 四半期末における総資産は前年度末比838億円増加して 3兆7,044億円となり、純資産は前年度末比34億円増加して2,152億円となりました。

また、主要な勘定の残高につきましては、譲渡性預金を含む預金等残高は前年度末比856億円増加して 3兆 3,481億円、貸出金残高は前年度末比159億円増加して 2兆5,409億円、有価証券残高は前年度末比234億円増加して 8,098億円となりました。

		平成30年 3月期 第 1 四半期	
			前年同期比
損益	経常収益	17,631百万円	△1,477百万円
	経常費用	12,967百万円	△410百万円
	経常利益	4,664百万円	△1,067百万円
	親会社株主に帰属する四半期純利益	3,211百万円	△15,173百万円
		平成30年 3月期 第 1 四半期末	
			前年度末比
主要勘定残高	総資産	37,044億円	838億円
	純資産	2,152億円	34億円
	預金等（譲渡性預金を含む）	33,481億円	856億円
	貸出金	25,409億円	159億円
	有価証券	8,098億円	234億円

(2) 平成30年 3月期（平成29年 4月 1日～平成30年 3月31日）連結業績予想

平成29年 5月15日に公表しております平成30年 3月期第 2 四半期累計期間及び通期の業績予想（経常利益及び親会社株主に帰属する当期（中間）純利益）につきましては、修正ございません。

2. 徳島銀行

(1) 平成30年3月期第1四半期（平成29年4月1日～平成29年6月30日）単体業績

当第1四半期の損益状況は、経常収益は、国債等債券売却益が減少したこと等により、前年同期比379百万円減少して6,032百万円となりました。

また、コア業務粗利益は、資金利益が増加しましたが、外国為替売買損が増加したこと等により、前年同期比5百万円減少して4,819百万円、銀行本業の収益を示すコア業務純益は、前年同期比47百万円減少して1,411百万円となりました。

経常利益は、上記要因に加えて、与信関連費用が増加したこと等により、前年同期比407百万円減少して1,455百万円となり、四半期純利益は、前年同期比135百万円減少して1,010百万円となりました。

当第1四半期末の主要勘定残高の状況は、譲渡性預金を含む預金等残高は、個人預金等が増加し、前年度末比553億円増加して1兆4,877億円となりました。預り資産を加えた総預り資産残高は、前年度末比538億円増加して1兆6,061億円となりました。また、貸出金残高は、中小企業・個人向け貸出等に積極的に取り組みました結果、前年度末比81億円増加して9,958億円となりました。

金融再生法開示債権額は、取引先企業の事業再生・経営改善への積極的な取り組みによる債務者区分のランクアップや不良債権の積極的な回収を図りました結果、前年度末比1,012百万円減少して19,551百万円、総与信に占める割合は1.93%となりました。

		平成30年3月期 第1四半期	
			前年同期比
損益	経常収益	6,032百万円	△379百万円
	コア業務粗利益	4,819百万円	△5百万円
	コア業務純益	1,411百万円	△47百万円
	経常利益	1,455百万円	△407百万円
	四半期純利益	1,010百万円	△135百万円
	与信関連費用	10百万円	46百万円
		平成30年3月期 第1四半期末	
			前年度末比
主要勘定残高	総資産	16,148億円	455億円
	預金等（譲渡性預金を含む）	14,877億円	553億円
	総預り資産	16,061億円	538億円
	貸出金	9,958億円	81億円
	有価証券	4,488億円	135億円
不良債権	金融再生法開示債権額	19,551百万円	△1,012百万円
	総与信に占める割合	1.93%	△0.12%

3. 香川銀行

(1) 平成30年3月期第1四半期（平成29年4月1日～平成29年6月30日）単体業績

当第1四半期の損益状況は、経常収益は、有価証券利息配当金及び国債等債券売却益が減少したこと等により、前年同期比1,295百万円減少して7,149百万円となりました。

また、コア業務粗利益は、資金利益が減少したこと等により、前年同期比601百万円減少して5,493百万円、銀行本業の収益を示すコア業務純益は、前年同期比761百万円減少して1,619百万円となりました。

経常利益は、与信関連費用が増加したこと等により、前年同期比1,073百万円減少して2,168百万円となり、四半期純利益は、前年同期比513百万円減少して1,453百万円となりました。

当第1四半期末の主要勘定残高の状況は、譲渡性預金を含む預金等残高は、個人・法人預金ともに増加し、前年度末比339億円増加して1兆4,454億円となりました。預り資産を加えた総預り資産残高は、前年度末比341億円増加して1兆5,975億円となりました。また、貸出金残高は、中小企業・個人向け貸出等に積極的に取組みました結果、前年度末比65億円増加して1兆1,689億円となりました。

金融再生法開示債権額は、取引先企業の事業再生・経営改善への積極的な取組みによる債務者区分のランクアップや不良債権の積極的な回収を図りました結果、前年度末比465百万円減少して22,340百万円、総与信に占める割合は1.89%となりました。

		平成30年3月期 第1四半期	
			前年同期比
損益	経常収益	7,149百万円	△1,295百万円
	コア業務粗利益	5,493百万円	△601百万円
	コア業務純益	1,619百万円	△761百万円
	経常利益	2,168百万円	△1,073百万円
	四半期純利益	1,453百万円	△513百万円
	与信関連費用	118百万円	368百万円
		平成30年3月期 第1四半期末	
			前年度末比
主要勘定残高	総資産	16,194億円	376億円
	預金等（譲渡性預金を含む）	14,454億円	339億円
	総預り資産	15,975億円	341億円
	貸出金	11,689億円	65億円
	有価証券	3,131億円	47億円
不良債権	金融再生法開示債権額	22,340百万円	△465百万円
	総与信に占める割合	1.89%	△0.05%

4. 大正銀行

(1) 平成30年3月期第1四半期(平成29年4月1日～平成29年6月30日)単体業績

当第1四半期の損益状況は、経常収益は、有価証券利息配当金及び役務取引等収益が増加しましたが、貸出金利息及び国債等債券売却益が減少したこと等により、前年同期比8百万円減少して2,504百万円となりました。

また、コア業務粗利益は、資金利益が増加したこと等により、前年同期比75百万円増加して2,025百万円、銀行本業の収益を示すコア業務純益は、前年同期比176百万円増加して404百万円となりました。

経常利益は、株式等関係損益が増加したこと等により、前年同期比249百万円増加して574百万円となり、四半期純利益は、前年同期比204百万円増加して403百万円となりました。

当第1四半期末の主要勘定残高の状況は、預金残高は、法人預金等が減少し、前年度末比34億円減少して4,387億円となりました。預り資産を加えた総預り資産残高は、前年度末比35億円減少して4,586億円となりました。また、貸出金残高は、中小企業・個人向け貸出等に積極的に取り組みました結果、前年度末比13億円増加して3,841億円となりました。

金融再生法開示債権額は、取引先企業の事業再生・経営改善への積極的な取り組みによる債務者区分のランクアップや不良債権の積極的な回収を図りました結果、前年度末比406百万円減少して6,213百万円、総与信に占める割合は1.61%となりました。

		平成30年3月期 第1四半期	
			前年同期比
損益	経常収益	2,504百万円	△8百万円
	コア業務粗利益	2,025百万円	75百万円
	コア業務純益	404百万円	176百万円
	経常利益	574百万円	249百万円
	四半期純利益	403百万円	204百万円
	与信関連費用	△34百万円	93百万円
		平成30年3月期 第1四半期末	
			前年度末比
主要勘定残高	総資産	4,894億円	1億円
	預金	4,387億円	△34億円
	総預り資産	4,586億円	△35億円
	貸出金	3,841億円	13億円
	有価証券	458億円	51億円
不良債権	金融再生法開示債権額	6,213百万円	△406百万円
	総与信に占める割合	1.61%	△0.11%

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

トモニホールディングス株式会社 経営企画部
 株式会社徳島銀行 企画部
 株式会社香川銀行 総合企画部
 株式会社大正銀行 企画部

TEL : 087-812-0102
 TEL : 088-656-1118
 TEL : 087-812-5132
 TEL : 06-6205-8400